

## 平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	地球・惑星深部における水素の物質科学
研究代表者	鍵 裕之 (東京大学・大学院理学系研究科・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>地球の深部における物質の状態は、高温高压という条件ゆえに、なかなか研究が難しい一方、水を起源とする水素の地球内部での存在は、核の密度・サイズ推定に大きく影響するだけでなく、物性にも大きく影響する。本研究は、物質中の水素の位置を決定できる中性子回折を手段とすることで、地球深部を模した物質の状態を調べようとする研究計画であり、インパクトの大きな研究成果が期待できる。既に、応募者らは高温高压条件で中性子回折実験を行える装置群を開発しており、本研究の遂行により、更に世界をリードする研究成果が期待できる。</p>